

戦後、日本の復興と繁栄に大きな足跡を残した三洋電機株式会社の創設者、故井植歳男氏の遺志によって昭和四十四年十一月に設立された財団法人「井植記念会」が、兵庫県在住または兵庫県にゆかりの深い人のなかから、めざましい活躍をされた人を受賞の対象としてその功績を讃え、ともに、地域社会のより一層の発展に寄与したいと考え、この『井植文化賞』五部門を設定しました。今回で第6回を数え、各分野の評議家、学識経験者などをもって部門ごとに構成される選考委員会によって次のように決定しました。

●第6回

井植文化賞

文化芸術部門



田原 富子
(ピアニスト)

昭和18年神戸生まれ。東京芸術大学附属高校から同大学を経て、同大学院修了。横井和子、安川加寿江に師事。数多くの協奏、リサイタルなどを経験。多彩なレパートリーをもったピアニストとしても知られる。月刊神戸っ子第1回ブルーメール賞、神戸市文化奨励賞、大阪府民劇場奨励賞などを受賞。

科学技術部門



安藤 四一
(神戸大学工学部助教授)

昭和14年東京生まれ。神戸大学工学部技術員、同助手を経て54年同助教授。その間ドイツゲッティンゲン大学研究員として音響工学を研究。現在、日本音響学会正会員、Acoustical Society of America 会員、Journal of Sound and Vibration 査読委員、赤穂市環境調査学術委員会(学)委員。

社会福祉部門



神戸大学看護ボランティア
リーダー・高林澄子

昭和43年に2看護婦でスタート。在宅の独居障害老人たちに専門看護技術を生かして訪問看護を継続。現在、14人の看護婦が老人6人障害者2人を介護。当初はリハビリテーション中心だったが、現在は主婦グループの神寿会とタイアップして入浴、清掃、食事準備なども行っている。眼くすのき賞受賞。

地域活動部門



月刊神戸っ子
代表・小泉康夫編集長

昭和36年創刊。地域の文化を活性化させるため、雑誌発刊を基軸として活動を展開している。ブルーメール賞、神戸文学賞、神戸女流文学賞の設定のほか、KFMの結成、KFS事務局としても活動。ファッション都市コンベンション都市づくりへの市民サイドからのオピニオンリーダー的存在でもある。

報道出版部門



ラジオ関西「兵庫県高齢者
放送大学ラジオ講座」
代表・飯上豊社長

昭和52年4月、(財)兵庫県高齢者生きがい創造協会(理事長、坂井時忠氏(兵庫県知事))が運営する高齢者放送大学のラジオ講義として発足した。本年度の学生数は1310名。高齢化社会が進む中で、老人を対象としたラジオによる生涯教育として評価が高い。昭和55年度の放送文化基金から表彰を受けている。

報道出版部門



日本経済新聞社神戸支社
“神戸の中堅150社”
代表・中西平四郎支社長

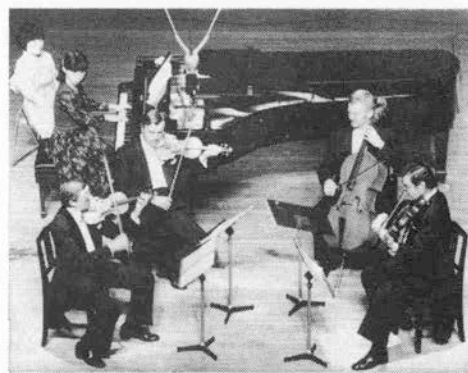
先の「神戸の中堅100社」「同一100社」に引きつづいて本年2月に刊行された本書は、菓子、パン、酒造、ファッションなど神戸らしい企業を積極的に取り上げ、神戸の中堅企業、ひいては明日の神戸経済界に活力を与えるものである。「六甲海へ翔ぶ」共々全国紙の地方支社の活発な活動と評価できる。

第6回井植文化賞文化芸術部門
音楽性と強烈な個性

田原 富子

選 考 委 員

吉村 一夫 (音楽評論家)
柴田 仁 (音楽評論家)
小石 忠男 (音楽評論家)



ブラハ弦楽四重奏団との協演(1982.2.9)

田原富子さんは東京芸大の大学院を修了したが、学生時代を除いては神戸生れの神戸育ち、いまも神戸在住で関西を中心に活躍している。その気さくで明朗な人柄が愛されるためか、若い演奏家に希望が厚く、独奏、室内楽、協奏曲、伴奏の各分野で広く活動している。譜面を読むのがはやく、仕事に確実ということ、当然、演奏依頼も多い。学生の頃から演奏しているが、ここ十年間を見ても百数十回の出演回数を数える。関西で彼女ほど多忙なピアニストは、ほかにないと思うが、たんに回数が多いいだけでなく、この数年来、数回のリサイタルや協奏曲、そしてブラハ四重奏団をはじめとする来日演奏家との協演で、

輝かしい成果を収め、中堅ピアニストとして、いよいよ成熟の境地にはいったことが感じられる。

もう息のつく限りピアノを弾きたいという彼女は、まだ将来に賭けることも多く、きき手の側としても期待が大きいが、それにしても従来の豊富な実績は、いくらか高く評価してもしすぎることはない。演奏家のなかでもピアニストはふしぎと協調性がなく、自然に狭いわくのなかに閉じ込められているが、彼女にはめずらしくそうしたことがなく、積極的に多様な仕事を手がけてきた。神戸とは限らず、全国的に考えても稀に見る実力派であり、今回の受賞はあまりにも当然だと思う。今後の一層の活躍を願う。

△小石忠男△

●選考経過

文化芸術部門は、今回は音楽部門から選出されることになり、まず始めにリストアップされた候補者は、ピアニストの田原富子、音楽の井上和世、樋本栄、三室堯、合唱の神戸中央合唱団、作曲の中村茂隆、徳永秀則、たにしの会、それに日本テレマン協会、ダンスリールネッサンスら。

そのなかから、すでに定評のある演奏活動を繰り広げている神戸中央合唱団と日本テレマン協会。最近安定した活躍をみせるメゾソプラノの井上和世、ピアニストの田原富子に絞って検討された。

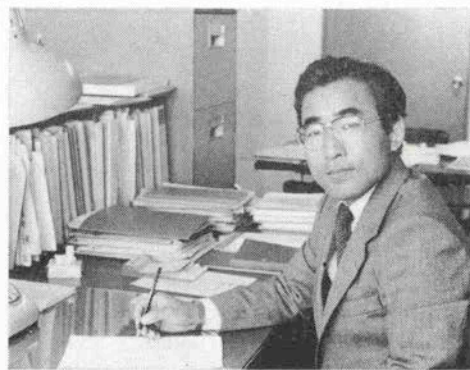
特に井上和世は、パリ国立音楽院卒業後帰国し、ソリストとしての活動を重ね、数多くのリサイタルでも成功を収めて、受賞の有力候補といえる存在。神戸中央合唱団と日本テレマン協会は、それぞれの受賞歴や、常に高く評価される活動のなかで、特に目立った点がないことから見送り。

一方、ピアニストの田原富子においては、際立った技術に裏打ちされた音楽性と強烈な個性、多様なレパートリーを持ったピアニストとしての評価、そして永年にわたる演奏活動のなかで、常に裏切られることのない安定性をもっていることから、田原富子に決定した。

第6回井植文化賞科学技術部門
音響学の分野を開拓
安藤 四一

選考委員

岩井 誠三 (神戸大学医学部長)
西羅 寛 (神戸大学農学部部長)
本松 隆一 (神戸大学工学部部長)
鍋真 正志 (神戸新聞社論説室参与)



研究室における安藤四一助教授

神戸大学工学部助教授安藤四一博士は、神戸大学工学部において長年建築音響学について研究を行ってこられた。音響学は建築学の分野では近年とくに重要な分野とされてきたが、氏はこれを人とのかわりの中で見直すという新しい分野を開拓された。その一は室内音響の心理的評価と最適設計である。従来は人間の聴覚を介して心理的に優れた音場とはどういうものかわからず、オーディトリウムを建設しても失敗に終わった例が多々あった。氏の研究は、壁からの音の反射を理論的に、また実験的に調べて、その結果を使って、電算機によるシミュレーションをして、その音場を聴覚心理的に評価しようというもので、ドイツ滞

在中の研究も日本人とドイツ人の音の好みについて、その共通性を明らかにされたものだ。この手法により音響学的見地よりの設計基準を明らかにされ、県下では神戸国際交流会館メインホールや宝塚市ベガホールなどがこの方法により設計された。

氏の研究のいま一つの方法は騒音の影響とその防止である。この研究は発育過程にある胎児あるいは乳幼児・学童に及ぼす騒音の蓄積的影響を明らかにして、その防止技術を追求め、都市計画上有効な示唆を与えようというものである。これらの業績はユニークなものとして高く評価されている。

△松本隆一▽

●選考経過

選考の初めに、科学において残されている分野は、人間に関わりのある分野であり、また遺伝子工学など生命科学としてのアプローチも進んできている等、現代科学技術の大きな方向が人間に向かっていることが指摘され、結局、科学は人間のことを考えて、人間のためになければならないということが確認された。

農学関係から名前があがったのは有機農業の保田茂。農の原点として、現代にない哲学を持ちこんだもので特筆されるべきものとされた。つぎに医学と工学を結びつけた画像処理の藤井進。工学的手法として将来的にも有望である。そして音の研究をしている安藤四一。安藤は、コンサートホール音響学という分野とともに、昭和43年より、騒音が人間に対してどのような影響を及ぼすか、特に胎児に対して及ぼす影響を研究。まったくの分野で顕著な成果をあげた。

有機農業はまだ学問的評価が定まらないということで、藤井と安藤が残ったが、新しいジャンルを地道な努力で開拓した点や、学界や海外での評価、さらに賞の性格上、地域社会への関わり、貢献という点が考慮されて、最終的に安藤四一に決定した。

第6回井植文化賞社会福祉部門

在宅福祉を实践する 神戸大学看護ボランティア

選考委員

服部 正 (大阪府立大学社会福祉学部教授)
野上 文夫 (兵庫県社会福祉協議会
社会福祉情報センター所長)
津田 元 (神戸新聞社社会部長)



地域の老人を招いて弁当パーティの試み

昭和四十三年、看護婦とその卵である看護学生の師弟トリオで誕生した神大看護ボランティア・グループは、神戸大学医学部付属病院を中心に愛の輪を広げ、以後十四年、看護婦、保健婦ら十四人が看護の専門技術を生かして在宅の寝たきり老人、重度障害児・者らの訪問看護に活躍している。

中心になっているのは高林澄子・神戸大学医学部付属病院看護婦長(四三)。経済優先の高度成長時代に「看護技術こそは将来の社会資源」と高齢化社会を先取りし、医療と福祉をつなぐボランティア実践活動に率先、献身するとともに、グループの輪を広げた。

現在、中央区を中心に兵庫、東灘区内で六人の寝たきりの独居老

人、二人の障害者を週二、三回、訪問看護している。さらに四年前

この運動に共感したキック(神戸新聞情報センター)の主婦らがボランティア・グループ神寿会(益田公子代表ら六人)を結成するとタイアップを図り、看護婦・主婦のコンビでリハビリ、看護から洗たく、掃除、入浴、身の回りの世話など活動の幅を広げている。

このほか年一回の老人野外パーティをはじめ市民を対象にしたシンポジウム、毎月のグループ学習会など活動は活発。全員が手弁当で交通費も自弁。リーダーは講演、原稿料を積み立てて介護用具を購入するなど、「在宅福祉」を实践するグループと高い評価を集めている。

〈津田元〉

●選考経過

候補にあがったのは「希望の家」(万代房子)、「葉害・医療被害情報センター」、「兵庫県警友会」、看護と福祉の橋渡しとして貢献した長倉昭美、「神戸東部地域入浴サービス実施委員会(ふれあいの会)」、「川口重義会長」、「誕生日ありがとう運動」の藤本隆、「神戸大学看護ボランティア」、「精薄者育成会みどり会」の笹倉二郎、「県精薄者育成会」の田中義徳、灘神戸生協文化事業部、希望の歯科診療所を開設して身障者の歯科治療を続ける石田鐵男、子ども会活動の異幸一などの各団体、個人である。

それぞれ地域の中で活動実績をつみ重ねているだけに、どこが受賞してもおかしくないという感想が選考委員の間から出されたが、神戸市が今年度入浴サービス公費制度を組み引き金となった「神戸東部地域入浴サービス実施委員会」。市民運動を全国に広げ、啓発映画、図書づくりに取り組み「誕生日ありがとう運動」。専門技術を生かして在宅独居、障害老人への介護訪問を続ける「神戸大学看護ボランティア」。

以上の3グループに絞られ、活動年数、過去の表彰歴などを勘案した結果、「神戸大学看護ボランティア」の受賞が決定した。

第6回井植文化賞地域活動部門 神戸のオピニオンリーダー 月刊神戸っ子

選考委員

一谷定之丞 〈園田学園理事長〉
今井 仙三 〈丸山地区文化防犯協議会会長〉
長島 晴雄 〈神戸新聞社主筆〉



第11回月刊神戸っ子ブルーメール賞授賞式(1982.4.8)

「月刊神戸っ子」(小泉康夫編集長)は本年3月で創刊21周年を迎えた。神戸という一地域で、20年以上出版活動を持続すること自体意義のあることだが、月刊神戸っ子が、今回の第7回井植文化賞の受賞となった理由は、地域の文化を活性化させるため、雑誌発刊を基軸として展開して来た一連の活動が高く評価されたからである。昭和46年、創刊10周年を機に文化賞「ブルーメール(青い海)賞」が設定された。これは、地域社会の中から世界に通ずる文化を育くむため文学、音楽、美術、古典芸能の四部門にわたって前年度に顕著な活動の認められる新人を顕彰するもので、第7回(昭53)からは、ファッショ都市・神戸を推

進するべく新たにファッション部門を設定、毎年五部門から受賞者を出している。創刊15周年を迎えた昭和51年には神戸文学賞・神戸女流文学賞を設定した。西日本在住者を対象とした小説の新人賞で、毎年一般から作品を公募し、受賞者を出しており、文学関係者からは注目をされている。

この他、KF M(コウベ・ファッション・モデリスト)の結成、KF S(コウベ・ファッション・ソサエティ)事務局としての活動さらにファッショ都市・コンベンション都市づくりへ市民サイドから提言をする一連の誌上キャンペーンなどの展開も地道で、ねばり強い活動として評価されてよいだろう。

△長島晴雄△

●選考経過

「大屋町の町づくり」と「園田学園」が、本年も話題となった。「大屋町の町づくり」は、いわば蓄の状態であり、地域全体が自覚を深め、根からの活動として一丸となる時期が近いであろうこと、しかしながら、何かもう一步、この賞の理念にかなう意欲的な活動を期待したい。

尼崎市という繁雑な地域で、公開講座や運動場の解放など、積極的な地域住民との連帯活動が続けてきた園田学園は、その業績を考えて受賞資格は十分といえる。

第6回目を迎える本年、「地域づくりの難しい都市において、ブルーメール文化賞の設定、神戸文学賞、神戸女流文学賞などを設定、地元の人材育成に尽力。また20年にわたる神戸のオピニオンリーダーとして、常にこれからの方向を示してきた」ということで、「月刊神戸っ子」の活動が評価され、選考委員の全員一致で受賞が決められた。

他に、ユニオンチャーチのコミュニティハウス、関西タイムアウトなど、神戸に入港する入国外国人のためのコミュニケーションの場を提供、日本に馴染むための架け橋的な地域活動が意外と見過がれている点などが指摘された。

第6回井植文化賞報道出版部門
高齢者の生きがいを創造
 ラジオ関西“兵庫県高齢者
 放送大学ラジオ講座”
 選考委員
 松井 政和 〈ラジオ関西専務取締役〉
 滝川 信宏 〈NHK神戸放送局長〉
 長島 晴雄 〈神戸新聞社主筆〉



兵庫県いなみ学園での研修会

●選考経過

報道出版部門は前回に続いて二本の受賞となった。

話題としては、ラジオ関西・「兵庫の百人」（県下在住者の声のライブラリー）、神戸新聞出版センター・「のじぎく文庫」、朝日新聞社神戸支局・「兵庫合衆国」、サンケイ新聞社神戸支局・「こうべの女」、さらに今井林太郎監修「兵庫県史」（全5巻）などがあがった。しかし、現在進行中のものや、行政側からの出版物を対象とする範囲が広すぎるなどの理由から今回は見送りとなった。

日本経済新聞神戸支社の「六甲海へ翔ぶ」は、ポートアイランド誕生の顛末を記録したもののだがその経緯を分りやすく説明したことが買われた。「神戸の中堅150社」は、神戸の産業を「具体的」に見せ、神戸を理解する上でも有効であり、それが地元へもプラスとなった点が評価され、まさに日経らしい仕事という点で意見が一致した。

「兵庫県高齢者放送大学」は、評価の高かった「人間学講座」を引き継いだもので、すでに放送文化基金から表彰され、放送界では高く評価されている。高齢化社会が問題とされている昨今、時宜を得た企画でもあり、これも全員一致で受賞となった。

学の57年度の学生数は一、三〇〇名、兵庫県外の学生もいる。老人会のリーダーもいれば、寝たきりの病人もいる。そして、これらの高齢者たちは、このラジオ講座を通じて知り合い、出会いと連帯の輪を拡げている。

高齢化社会が進む中で、老人を対象にしたラジオによる生涯教育の試みは一層重要となり、その中での「兵庫県高齢者放送大学ラジオ講座」は、多くの高齢者のための人生学習の場であり、心の交流を図る生きがい創造の場といえるであろう。

なお、このラジオ講座は55年度の放送文化基金から表彰を受け、中央でも高く評価されている。

△松井政和▽

「兵庫県高齢者放送大学ラジオ講座」（ラジオ関西・毎土曜日・午前6時30分～7時放送）は、財団法人・兵庫県高齢者生きがい創造協会（理事長・坂井時忠兵庫県知事）が運営する高齢者放送大学の、ラジオを通じての講義である。この放送大学は、5年前の昭和52年4月、坂井知事の肝入りで発足し、老人大学に通学できない高齢者のため、生涯教育の機会と場を提供しようという当初の設立趣旨を超えて、大きく成長した。これはラジオ講座のカリキュラムを編成する際、ラジオの特性を生かした企画をたてたことによるものである。「家庭の中の人間関係」や「宗教と人生」など、老人の内面に迫るテーマがアピールした。放送大

第6回井植文化賞報道出版部門

明日の神戸に活力を与える

日経神戸支社「神戸の中堅150社」

選考委員

松井 政和 〈ラジオ関西編集取締役〉
 滝川 信宏 〈NHK神戸放送局長〉
 長島 晴雄 〈神戸新聞社主筆〉



「神戸の中堅150社」(表紙)と「六甲 海へ翔ぶ」

日本経済新聞神戸支社は、五十二年九月「神戸の中堅一〇〇社」を発刊したが、これは地元産業界自治体、学界などに大きな反響を呼び、沈滞気味の神戸産業振興のための起爆剤として、話題を集めた。

このため五十四年三月、更に改訂増補した「神戸の中堅一三〇社」を続刊したところ、一層時宜にかなない、評価も定まった。五十七年二月、会社数もふやして、「神戸の中堅一五〇社」として続刊したが、神戸や姫路で、ベストセラー一位を長く維持するほどの売れ行きとなった。

このことは、神戸が中堅企業の宝庫であるにもかかわらず、また低成長経済下で、企業形態も量か

ら質へと転換を余儀なくされているにもかかわらず、この種のまとまった紹介がこれまで欠けていたためと考えられる。

本書に掲載されている企業は、機械、電機、金属、食品、繊維、金融などの他に、菓子、パン、酒造、ファッション、皮革、海運、レジャーなど、当然のことながら神戸らしい企業を積極的に取り上げているのが目立つが、何よりも一般の「会社要覧」などにみられない、手づくりの暖かみのようなものが感じられるのも特色だ。

また一社を一頁毎に手際よくまとめた上、設立、社長、事業所、資本金、総資産、事業、取引先、取引銀行、従業員数、採用人員、初任給、採用予定、業績など、き

め細かくデーターを記しており、特に社長略歴欄は、会社を个性的に知る上でも、大変役立つ試みだと思う。

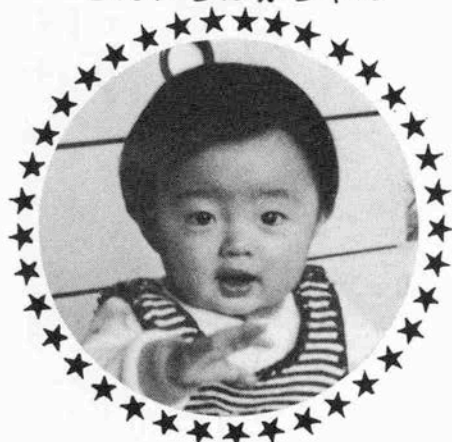
多数の中堅企業から、一五〇社を選び出すのは苦勞のあったところだと思いが、日本経済新聞、日経産業新聞、日経流通新聞の各記者の日頃の取材活動の中から、業界での指導性、経営戦略の特異性などに重点をおいてピックアップしており、妥当なところだ。

日本経済新聞神戸支社では、昨年のポートピア開催に先立ち、ポートピアの埋め立て事業の全ぼうを紹介した「六甲海へ翔ぶ」を、五十六年三月に出版している。これも全国的に好評を得て、ポートピアの観客増に一役買ったものと思われるが、全国紙の地方支社のこうした一連の活発な出版報道活動は、今後の全国紙の地方文化への貢献という面からも注目される。

ポストポートピア、コンベンション都市づくり、神戸沖新空港など、今後の神戸市の抱える問題は山積している。こうした時期に、出版された「神戸の中堅一五〇社」は、中堅企業、ひいては明日の神戸経済界に活力を与えるものであり、その功を讃えるとともに努力を多としたい。

△滝川信宏▽

こんにちは赤ちゃん



太田秀穂ちゃん/須磨区白川台

完全看護★冷暖房完備★病院前公共駐車場有

芦屋 柿沼産婦人科

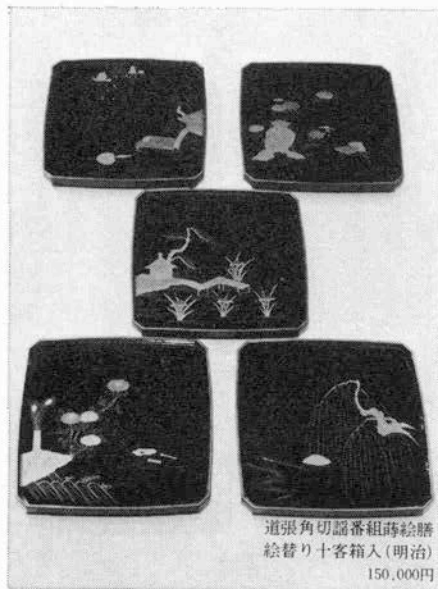


芦屋市大栴町1番18号

芦屋保健所東隣

☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

刀剣 古美術



道張角切罫番組蒔絵膳
絵替り十客箱入(明治)
150,000円

毎月20日 無料鑑定
研磨、白サヤ、その他工作
お支払いに便利なローンをご利用下さい。

兵庫県美術刀剣商組合事務局

刀剣の **元町美術**

神戸市中央区元町通6丁目6番3号

三越百貨店東へ150m 商店街山側

TEL 078-351-0081

市民生活を向上させる

神戸沖新空港

△座談会出席者▽

柳瀬 俊郎 △神戸市長室長▽

鬼塚喜八郎

△兵庫県経営者協会副会長
神戸経済同友会総務委員
神戸商議所ファシリティ・神戸市づくり特別委員長▽

西村 隆治 △神戸青年会議所理事長▽

このほど神戸市側から「神戸沖新空港計画試案」が発表され、それを受けて六月二十五日に、神戸商工会議所など神戸の経済六団体を中心となって「神戸沖空港推進協議会」が設立されました。いよいよ神戸沖空港の建設に向けて官民が一体となって動き出したわけです。そこで今回は、神戸沖新空港の概要、経済界としての取り組みなどについてお話をお願いいたします。

官民一体となって神戸沖新空港建設を推進

柳瀬 五月二十一日に神戸市会では、関西新国際空港の早期建設に関する意見書を議決し、市としては実現可能な適地に建設するための「新空港計画試案」をまとめたわけです。この度の「神戸試案」が、なぜ今の時点で出されたかという点、昭和四十七年に市議会が反対決議をしたわけで、当時はいわゆる「公害問題」が世論を占めていた。十年後の現在、公害がすっかり解決されたわけではないが、かなり軽減され善処されてきて、相当の改善がみられています。ただ、今の段階で議会では基本的

北川 勲 △神戸商工会議所常務議員貿易部会長
神戸貿易協会副会長▽

石丸鐵太郎 △神戸青年会議所空港問題実行委員長▽

にはまだ肯定されておらず、神戸沖も例外でないという前提の中で空港適地を捜そうということですが、神戸市長はさまざまな点から考えた結果、やはり神戸沖が最も適すると判断したというわけです。

その青写真は、「意見書」の主旨に沿った上で、利便性の高い、お金のかからない、国に依存せず地域に密着した効率のよい空港を、描いたわけです。第一に飛行場を取り巻くいろいろな環境上の問題として、まず騒音公害が誰の頭にも浮かぶのですが、ポートアイランド沖約四キロに空港島を造り、飛行経路をすべて海上とした。さらに時代の流れとして、飛行機自体がボーイング707からボーイング747と改良されて騒音が15〜16%と画期的に軽減されている。また、海への配慮として、漁業や船の航路に支障がないように空港島への輸送手段として沈埋トンネルを考えたこと。これは、昨年のポートピアで賑わった後のポートアイランドを上手に生かすことにもなる、神戸市にはポートピアの成功で学んだ島造りの技術も即戦力となるわけです。

第二に、神戸市百三十万人の人口のうち、市営地下鉄

とニュータウン開発によって、現在、ほとんど人が西北神地域へと動いている、そのためにいわゆるスプロール現象ですね、都市がカラッポ化していつている。ということは、神戸の都市活力がしだいに沈滞していく不安があるわけで、神戸の都市をイキイキさせ、賑わいを取り戻し活性化させる発想がどうしても必要になってくる。

現在世界一のコンテナ港である神戸も、輸送の形態がやがては飛行機・空港にとってかわるのは目に見えており、そうなれば、空港のない都市はどんどんさびれていく時代がもう来ている。都市の構造そのものを強化し、活性化する準備は急務といってもおかしくないわけですね。

第三には、関西の航空機需要を考えると、伊丹空港は現状で満杯であり、だから「関西新国際空港」が取り沙汰されているのですが、伊丹では非常にロスが多い。京阪神で最も価値の高い場所、利便性という点でも「神戸沖」が優先されるということですね。

鬼塚 ポートピア後の神戸ということを考えると、「コンベンション・シティ構想」があり、85年の「ユニバーシアード神戸大会」へ向けての準備が、昨年から着々と進められている。しかし、他方、国際イベントなどのインターナショナルな水準で事が行なわれるというのに、一体、人の輸送はどうなるのか、という点が気がかりですね。経済界に限らず、文化面でも、すべて根底は人の流れにある。関西の地盤沈下が言われて久しいが、人の流れと情報東京に集中しすぎていますね。伊丹空港はパンク状態だし、海外へ出るには成田まで行かないとい

けない。実に不便です。

そうしたことは、神戸に限らず関西のあらゆる人々が十分肌で感じ、もう痛感しているわけで、これは経済界のみの問題ではないですね。また、いくら経済界だけががんばってもそうやすやすと実るものではない。今回の「新空港計画試案」に辿りつくまでの経過としては、以前から市議会の方へ決議の再検討を依頼していて、まさに機運が熟したという感で五月に「意見書」が出た。

ただ単に神戸沖に空港を造るというものでなく、獨創性ある「空港案」が、市長から正式に提出された。さらに、神戸商工会議所、神戸経済同友会、兵庫県経営者協会、神戸青年会議所、神戸貿易協会、神戸船主会の経済六団体に加えて、神戸を代表する四企業、神戸製鋼、川崎重工、川崎製鉄、太陽神戸銀行が一致協力して、この試案をどう推し進めていくかというための「神戸沖空港推進協議会」が生まれた。神戸沖空港の早期実現をめざして、積極的に取りくんできこうと決まったわけです。今後、他の団体もどしどし参加していただき、より具体的に進めていきたいですね。

そういう経過があり、現在、スタートをしたばかりであって、まだまだ考えていかなければならない点如山積みされている。神戸沖案については、神戸とか大阪とか一地域の問題としてスケールの小さい狭い目で見ると、なく、京阪神―関西地区水準のものでなければならぬ。関西の地盤沈下、経済界の沈滞ムードが、今になって一つの緊迫感となってきたというわけで、神戸市がいくらコンベンション都市をめざして進んでいても、何とい



柳瀬 俊郎さん



鬼塚喜八郎さん



北川 勲さん



西村 隆治さん



石丸謙太郎

っても世界各国から関西へ人の流れが向かわない限りは、国際会議をやる、国際見本市をやる、いくらパイパーを誘致するといってもこれは無理な話です。やはり、世界のいろんな国々から多くの人々が、直接に、関西へ着港できる設備の整った飛行場がぜひとも必要です。一方、泉州沖案では、非常に高額の費用がかかり、工期が長期であるなど大きな困難を抱えており、それをじっと待っておれぬという差し迫った気分が、神戸の経済界にあります。日本は行政改革、財政再建という未曾有の体質改善を迫られている時期でもあり、そこへ神戸沖案が正式に出された。それも、早く安く利便性がよいという3つの画期的な特長を備えている。また、国に依存する限り、とうてい早期実現はないとして、いわゆる第三セクター、地方自治体などの民間の知恵と協力によって行なおうとする点は、ずばぬけて素晴らしい。もちろん、アクセスの面でも、新幹線はすぐに接続でき、高速道路も鉄道にも費用をかけないでアクセスができるわけで、スビード時代に即応したものだと言えます。「神戸沖空港推進協議会」は、関西レベルの地域活性化をはかるため、組織が一丸となって「神戸沖案」を推し進めていこうとしているわけです。

空港はポर्टアイランドの付加価値を高める

北川 貿易という観点から言えば、2つの次元がある。つまり、一つは神戸沖空港の必要性、もう一つは実現の可能性です。私は昭和二十三年から、ずっと民間貿易に係わってきたのですが「物」をはさんで「人」が相対しているのが貿易の姿で、それをつなぐのが「情報」なわけです。だから国際化情報化時代の現在、飛行場がないことが、関西の貿易が年々の沈下を辿ってきた大きな原因となっている。現在、神戸には貿易商社が千社あり、商品のサンプルを海外へ送り、それを納得していただいで商いが成立するわけで、そのためには例えば、ヨーロッパへは、成田空港を経由して送る現状である限り、こ

ちらは一時間でも早く着いてほしいのに、一日二日のロスが生じてしまう。

貿易商という仕事は、あまり目立たない存在のように思われがちですが、明治以降の神戸を活発な街に発展させていったのは、もともとは貿易商だったわけです。今でこそ異人館が神戸の観光名物となっているが、異人館に住んだのは貿易商だったし、貿易の原点は神戸から生まれた、というふうに、神戸にはそうしたエネルギーがあった。ところが飛行場が東京にあり、情報がどうしても東京へ集中していく東高西低型の日本全体における機能のバランスの悪さと、輸出メーカーの営業主体が県外、特に東京に集中している点で、貿易がふるわなくなってきました。貿易の復興がなければ、神戸の街の活性化は難しいし、そのためにはどうしても空港が必要で、ポर्टアイランドの沖に第三の人工島を造ることは、ポर्टアイランドの付加価値を百倍千倍に増やしていくことになる。かつて長崎の出島がオランダ、ポルトガルなどの船によって、日本の発展の基礎を築いたように、航空機の時代には、神戸沖の第三の空港島が、西日本にとって大きな役割を果たすことになると思います。

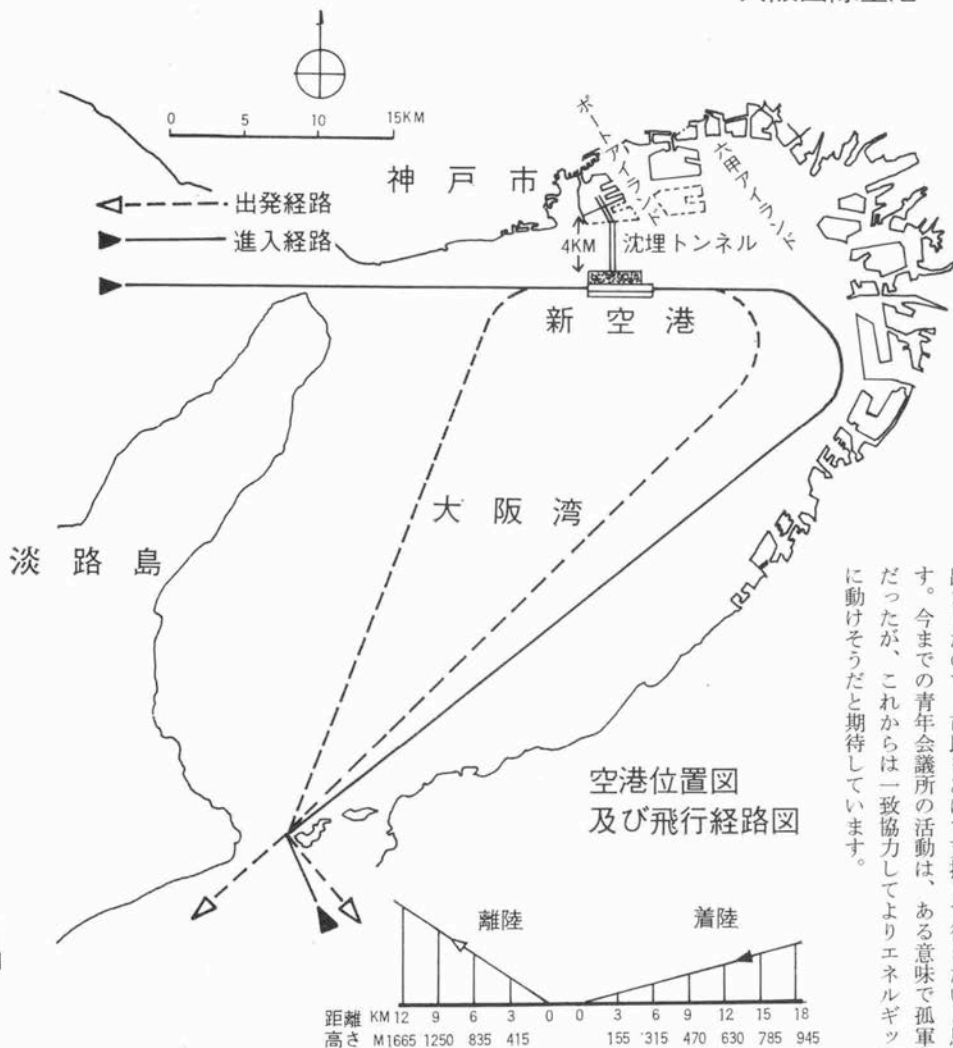
西村 神戸青年会議所は、これまで一貫して、関西新国際空港の神戸沖誘致を主張し続けてきたわけで、この五月に市議会の反対決議案がとり下げられ、市長から「新空港計画案」が出て、さらに民間団体が一致協力して「神戸沖空港推進協議会」が発足した。まさに、とんとん拍子に運び出したという感じを受けています。行政と経済界の合意が急速に進み、今や市民レベルではどこまで賛同をえられるかというところまでできています。昨年六月にオビニオンリーダー千二百名に新空港についてのアンケートを取ったところ、条件付賛成を含めると92%にまでなり、改めて市民の皆さんにこちらが考えるよりもすでに素地ができていたことがわかった。また、昨年九月に出版をした『海から空へ——神戸と関西新国際空港』の出版記念会の際にも五百名以上の人たちに参加してい

大阪国際空港

ただいて、かなりの線まで理解いただいているのを心強く感じます。

神戸沖試案のフタを開けてみて、一つは、大阪国際空港との調和を下げにされている、つまり、国際空港ではない点、もう一点は、政府の援助を期待しないという二点で驚きましたが、面白い案だと思います。泉州沖案と

ぶつからない線で非常に意義深い。地方公共体と第三セクターでもって実現への道を切り開こうとする。これは、関西の経済人の系譜をつないでいると思う。名を捨ててもしっかり実をとるという合理的、かつ、国をあてにしないという関西の精神の江戸時代から受け継いできた伝統的な自力開拓型、独立精神を、神戸沖案に感じるわけですが、いずれにせよ、緻密で本格的な神戸沖空港案が出ましたので、市民をあげて支持して行きたいと思っています。今までの青年会議所の活動は、ある意味で孤軍奮闘だったが、これからは一致協力してよりエネルギーに動けそうだと期待しています。



空港は一人ひとりの市民生活を向上させる

石丸 私は、神戸という街を見る時に自分が神戸生まれでない、いわゆる「神戸っ子」でない点で、一長一短があるんです。私の父が大正七、八年頃、神戸に住んでいたことがあって、子どもの頃から神戸のことはよく聞かされていた。ところが、神戸に来てみて父の話とは全然違う、ハイカラな活発さを持った国際都市などではないではないか。むしろ、昔は国際的だったと言われたものを残しているだけにすぎないと感じました。例えば、広島市と呉市の例ですが、呉市は軍港だったので海軍士官が海外から文化を持ち込んできて、非常にイキイキしていた。ところが、戦後、軍隊が解散してしまうと同時に、あれほど彩り豊かで栄えていた街が一挙に生彩を失って沈滞していき、広島がとって替ったわけです。父の話が印象的だっただけに、やがては神戸もそうなるってしまうのではないかと不安があります。

神戸という街が今、どことなくしずしにあらゆる分野で色あせてきはじめているというのは誰もが感じるところなのに、打開策として出て来たこの構想に、残念ながら一般市民の反応は、あまり打てば響くといったものでない。特に女性の人たちは、水平的に「騒音公害」と、「飛行場ができて私には、関係がない」というふうを受けてとめている。騒音はないのだと言っても、やはり感情面で捉えてしまっていて、これをどう納得してもらうか、なかなか難しい問題だと思いますね。

北川 神戸市民百三十万人の半分は、女性です。一般市民の「関係がない」という意見も、家庭という水準で捉えてみると、実は一人ひとりの家庭をとりしきっている女性の人たちが、今後の関西の浮上がご主人の将来、つまり家庭の事情、さらに今の子どものたちの将来にどう関係してくるか、ということから考えてほしいと私は思いますね。鬼塚 都市型住民の持っている個人主義的な一面ですね。しかしながら、つまるところは地域住民のコンセン

サスがなければ神戸はイキイキとしない。市民の十全な合意とバックアップがあってこそ神戸沖案です。都市の活性化がなければ、結局、個人の所得にも影響を及ぼします。孫子の兵法には「天の機、地の利、人の和」ということが言われていますが、天の機は、国家が行政改革を進める一方、「地方の時代」であり、地方それぞれが持てる力を結集している。地の利は利便性です。最後に、人の和ですがこれは一般市民の理解が先行する。最終的には世論の同意を得ないといけないのですが、世論が活発に動く時期もそう遠くないのではないかと気がします。

石丸 新空港について、中途半端な情報や知識で批判しない雰囲気づくりが、いちばん大事です。例えば、神戸に空港を造るといって、即座に騒音公害とくる。実際には市街地の上空には飛行機は飛ばないし、経路は海上にあり、それを十分配慮した上での試案だから、騒音もないのです。

鬼塚 やはり実現については、市民の一人ひとりから成る世論が決断していくべきです。経済界、政界はそれによって動くもので、この点が重要です。飛行場なしに都市の発展はありえないという事実を、いよいよ市民の皆さんに問うという時機がきたと考えています。

西村 神戸青年会議所としては、各婦人団体に対して懇談できる場を設けて、飛行場建設に關しての事実を正確に認識していただき、騒音や飛行機そのものの改良の実態を科学的な意味でも理解してもらう、そうした輪を一步一步広げていくつもりです。

柳瀬 神戸市民一人ひとりに、それぞれの市民生活がどういう形であり立っているかを考えていただくと、産業と都市の活性化が、すなわち市民生活の向上につながって来るということが分ると思います。その意味においても神戸沖空港建設は市民一人ひとりに直接関わって来る問題だということを知っていただきたいと思います。

(ブランドウブランにて)

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区旗塚通 6-3-10
TEL (078) 231-3321

オールスタイル株式会社

取締役社長 川上 勉
神戸市中央区伊藤町121
TEL (078) 321-2111

カネボウベルエイシー株式会社

取締役社長 稲岡 必三
神戸市中央区三宮町1丁目9-1-807
センタープラザ東館8F
TEL (078) 392-2101

株式会社ベニヤ

取締役社長 松谷 富士男
神戸市中央区三宮町1丁目10-1
TEL (078) 332-3155

モロゾフ株式会社

取締役社長 葛野 友太郎
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号
TEL (078) 851-1594





自走式立体モータープール

ビジネスに！
ショッピングに！
ご利用ください

- 収容台数 300台
- 月極駐車可
- 年中無休



(8:00AM~11:00PM)

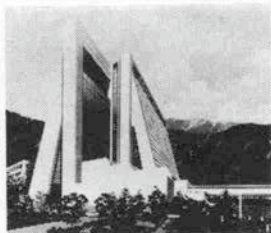


磯上モータープール (神戸国際会館前) TEL (078)251-7873

経済ポケット ジャーナル

★市民病院跡地は

ダイエーがホテルを建設
新幹線新神戸駅前の中央
市民病院跡地はダイエーに
約120億円で譲り渡され
ることが決定。ダイエーは
新会社を設立し、ホテルを
開業する。この土地は、神
戸市がポートアイランドに
移転した中央市民病院の跡



ホテル完成予想図

地を「多目的機能を備えた
都市型ホテルを、ユニバー
シアードが神戸で開かれる
60年までに開業すること」
を条件に公募していたもの
で、今年1月に開かれた説
明会では41社が参加した
が、ダイエー1社だけが申
し込んでいた。



ダイエーの計画案による
と、ホテルは地下6階、地
上31階の市内最大のもので
3000人収容のホール、
会議室、劇場、ギャラリ
などのコンベンション施設
を備える。また別棟として
市民が幅広く利用できるシ
ビック・アミューズメント
棟（地下4階、地上9階）を建
設し、これには娯楽、スポ
ーツ施設を備える計画。海
外客の集客と地域発展の核
的機能にポイントを置く方
針で、第一期工事として約
300億円をかけ、ホテル
棟を建設、60年春、遅くとも
62年に開業の予定、アミ
ューズメント棟は引き続き
第2期工事として約1000
億円かけて建設される。

★神戸須磨北RC誕生

去る6月27日、ポートア
イランドの神戸国際交流会
館メインホールで、神戸須
磨北ロータリークラブの国
際ロータリー加盟の認証状

伝達式が行なわれ、第26
8地区55番目のRCが誕生
した。坂本智元第268地
区ガバナーから認証状が伝
達された式典に引き続いて
記念講演を開き、邱永漢氏
による「80年代を先取りす
る利殖戦略」を「勉強」。



その後、神戸国際展示場に
会場を移して祝宴。第26
8地区を中心に全国各地の
ロータリアン約600人が
お祝いにかけた。

この神戸須磨北RCは佐野
修也会長・会員26名は平均年
令40才という日本一若いク

★KOBEOフィスレディ★



菅沼 真美さん(25)

〈神戸市商工貿易センター〉

三代続きの神戸っ子で、
甲南女子大の国文科を卒業
後、今の職場へ。最近ジャ
ズダンスに凝っていて、汗
を流した後の爽快感は最高
自己評は「活発、でし
ばり、いつも動いているの
が好き」。で初対面の人とも
たちまち打ち解ける。あち
こちに友人がでるが、特
定の男性が現れないのが
悩みの種。誠実で明るいス
ポーツマンが理想である。

ラブで、その活動が注目さ
れているが、新しい街づく
りが進んでいる地域だけに
「いかに地域に密着した活
動をしていくかにウエイト
を置く」(神戸保恵一氏)と奉仕
活動に取り組む。この誕生
記念事業のひとつとして北
須磨文化センターに高さ4
層の太陽電池時計を設置し
た。

★サンTV新社長に小笠原副知事

社長/小笠原副知事、専務/竹谷和夫
取締役/井上正之、三木良一、光田
頭司、山本敏雄、柳瀬俊郎、加古豊
彦、野草平十郎、吉田豊信、作田亮
監査役/大橋英次、安好匠

★神戸新聞社、社長に藤岡氏就任

光田頭司氏の取締役会長就任に伴
い、新社長に専務取締役の藤岡亮三
氏が就任した。会長/光田頭司、社
長/藤岡亮三、常務/長島靖雄、取
締役/三木良一、長谷正行、久崎修
也、荒川克郎、佐野達真、大田敬治

★デイリースポーツ社人事

会長/光田頭司、社長/三木良一
専務/福元寛介、常務/中尾昇司
取締役/柿本宗之助、藤岡亮三

神戸のいいイメージを生かそう
 神戸百店会は、小誌を事務局として18年前に結成されました。メンバーは当初から若干の入れ替わりはありましたが、神戸を代表する専門店グループとして今日まで会がつづいております。参加各店の動きは、小誌が毎月掲載しております「神戸百店会だより」などを通して、一般の方々へもアピールされています。しかしながら会全体としての活動は、これまでのところあまり行われて来なかったというのも実情です。そこで今日は、神戸百店会のメンバーのうち、主に若手の方々にお集りいた

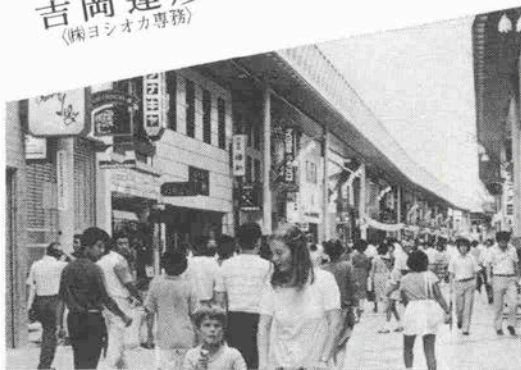


KOBEの いいイメージを 神戸百店会で...

●出席者

安達昭三
(フナキヤ社長)
 柴田啓嗣
(柴田商事取締役)
 吉岡達彦
(南ヨシオカ専務)

下村光治
(神戸鳳月堂社長)
 大牧晴男
(南リザ専務)



安達 昭三 さん

だき、「神戸の顔」としての神戸百店会の今後の活性化を図るためのご意見をいただきたいと思います。

安達 神戸百店会が結成された当



下村 光治 さん

時のことを知っているのは、この中では私だけでしょうね。当初は専門店が集って、月刊神戸っ子を育てようという後援会的な意味合いがあったように思います。

活動としては、今、司会者が言われたように親睦会が何回あっただけですね。最近では、ポートピア'81(神戸博)の前に博覧会協会事務局の渡辺さんにお願いをして講演会を開きましたね。

下村 おっしゃる通りに神戸百店会は専門店の集りですが、どうもそれだけで、共通の目的といったものがない。それが弱いと思いますね。会を活性化させるためにはやはり大きな目的が必要ではない

かと思っています。

安達 ただ、メンバー各店の規模がまちまちだし、一緒に共通の事業をやるということは難しいと思いますね。

吉岡 全店が集ってやれるのは、広告宣伝ぐらいかも分りませんね私の店は大丸前中央商店街にあるのですが、そこですらまとまって何かをやるといふことはないですね。

大牧 銀座百店会もそうなんです、全国のどこへ行っても、その土地その土地に名店と呼ばれるものが明確にあると、外から来た人に安心感を与えられると思いますね。

だから、神戸に神戸百店会あり、ということを強力にアピールできる方法を考えるべきです。幸いに神戸のイメージはポートピア以後、ずい分とよくなって来ています。ですから、その神戸のどこにどういう名店があるかを対外的にビー・アールすることは必要ですね。大変な事業になると思います。がぜひともやらないといけない。

柴田 私のところは神戸と大阪に店があるのですが、地方から来られた方に、神戸にはまとまった名店会はないのか、とよく聞かれますね。やはり、神戸という町には名店会のようなものが育つ要素があると思っています人が多いようですね。三年前から婦人ブレタのシ

ョーをはじめましたが、大阪ではもう一つなんです、神戸でやり



柴田 啓嗣 さん

ますと、イメージがいいんでしょ、お客さまが多勢お見えになりますね。ですから、いろんな展示会やショーを神戸でやると、神戸という町のもつ付加価値が加わ



大牧 晴男 さん

って、外に対して強烈なアピールができるでしょうね。

吉岡 神戸の町のイメージはすごくいいですね。うちでも今は、神



吉岡 達彦 さん

戸以外のお客さまが多くなっていると思います。

柴田 神戸百店会のメンバーは、そういう意味では恵まれています。また、各店毎に活発な活動をされている。しかし、全体で何かをやるということになるとやはり時間をかけて取組む必要があります。

ライフスタイルを提案する百店会

安達 一つの場合ですが、セクシオンをいろいろと決めて、各セクション毎にメンバーを構成するということも考えられるでしょうね。

下村 そうですね。いざれにしても今後とも神戸百店会を維持、発展させるためには、組織をしっかりとさせるべきですが、何々委員会というように、委員会を設けて活動を始めるのいいのではありません。か。一度、懇親会を開いてもいいでしょうね。

安達 会の活動を前向きにすすめて行くためには、方法として、まず理事を決め、さらに分科会をつくって、イベントをやるグループ、研修会をやるグループ、などに分け、会員の規模に応じた活動を展開すべきでしょうね。そういう手

つづきが必要だと思います。大牧 委員会や分科会方式をとることは、方法としてはいいと思うのですが、ただ、運営をうまくやらないといけない。単に親睦だけ

というのでは外へ訴える力は弱い
ですね。神戸百店会には神戸の各
業界の専門店が集まっているので
すから、「メイド・イン・コウベ」
のライフスタイルをグループとし

て提案し、対外的にアピールして
行くということが何よりも必要で
しょうね。神戸という町、神戸の
専門店、それ自体にアピールで
きるいいものをもっています。し
かし、いわゆる神戸のエスプリが
実るまでには、時間がかります。
柴田 確かにそうでしょうね。対

外的にアピールするとともに、や
はり地元の人、神戸の人々にアピ
ールすることも大切です。たとえ
ば、毎年春に行われています「世
界の酒祭り」。例年、千人ほどの
方が出席されているのですが、そ
こで神戸百店会の存在を知っても
らうために、何らかのピー・ア
ールをする。まず、神戸百店会とい
うものを神戸の市民の中に浸透さ
せたいですね。イベントを考える
必要があります。それから、先ほ
どお話しに出ていました委員会を
つくって行く、という方法が考え
られるのではないかと思います。
大牧 横浜の元町では、元町バザ
ールという催しをやってよく賑っ
ています。神戸でも、たとえば、
ファッション・フェスティバルの
ようなイベントを考え、賑わいを
つくり出さないといけない。それ

によつて外から人を神戸へ吸引す
る。そういうことを神戸百店会が
催すことができればいいですね。
人が神戸に集まるような大きな催
しが欲しいと思います。

下村 町の賑わいということでは
神戸の町は夜が早い。(笑) 商店
街でも、もう少し遅くまで店を開
けるとか、せめて、ウインドウシ
ョッピングぐらいはできるように
して欲しいですね。まず、神戸百
店会のメンバーからやり始めます
か。(笑) そういうことが、町の
賑わいにつながって来る。

神戸百店会の活性化をめざす

安達 神戸の大きなイベントとい
うと、神戸まつりがあるので、
神戸という町は、日本古来の祭り
と結びつけてイベントを行うのに
は向かないと思われているよう
ですが、そうでもないでしょうね。
町に賑わいをつくり出すためには
次々とイベントを展開して行くこ
とですよ。

吉岡 神戸が最近、ますます全国
的に名を知られるようになって来
たのは、いろいろな雑誌に紹介さ
れているからです。そういう雑
誌によつて神戸へ来る人は、大
ていう若い人が多い。これからは、
そういう若い人を抜きにしては、わ
れわれの商売も考えられなくなっ
ていると思うんです。だから、神

戸百店会としても、そういった年
齢層へもアピールすることを真剣
に考えないといけないでしょうね
安達 神戸百店会が結成されて18
年たった今、もう一度、見直そう
ということはいいことだと思いま
す。月刊神戸っ子の本文中に神戸
百店会の名簿と地図がはさみ込ま
れています。それに対して一月
千円の会費を払っているのですが
どうも意識としては「名刺代」と
いう感じがあるみたいですね。今
回のテーマである神戸百店会の活
性化ということになると、現在の
会費だけではとても運営できない
と思います。これは内部的な話な
んですが……。しかし、お話に出
ていたように今、神戸はいろいろ
な面で注目をされています。神戸
百店会のような専門店のグルー
プのあることが、町に活力を与える
ことになりました。最初に言いまし
たように、私や今日お集りのみな
さんの先代の方は、「月刊神戸っ
子」の応援団という意味で神戸百
店会をスタートさせたのですが、
今、新たにどう再出発するかをメ
ンバー一人ひとりが考えるべきだ
と思います。
——— ありがとうございました。今
日のお話をもとにして、これか
らの活動の具体的なプログラムを
進めさせていただきたいと思いま
す。(ブランドウブランにて)

壁の穴情報 VOL-3(その1)

Won't you make it, Spaghetti.

[若者のアイドル](2人前)

フランクフルト：1½本
Boil de ベーコン：5枚
ピーマン：2個
しめじ：½個
椎茸：4個
スパゲティ：1袋(壁の穴オリジナル)

- ①フランクフルトは切ったもの、ベーコンも3つほどに切ったものをフライパンで炒める。
- ②そこに残りの野菜をすべて入れる。
- ③全体に火が通ったら白ワインをふり入れ、ウインッシュにする。
- ④茹であがった麺を③の中に入れ、しょうゆ、塩で味付をする。

(イタリアの諺にいわく、「食べているときは年をとらない」そうナ。
あなたも早速チャレンジ。若返ること間違いナシ?か。)

8/21 京都河原町BAL横、ヨッチャンビル(B1)に、壁の穴いよいよオープン。
是非お越し下さいませ。

[たらこ](2人前)

たらこ：1つ
(明太子でもよい)
無塩バター：20g
日本酒：小さじ2杯
スパゲティ：1袋(壁の穴オリジナル)

- ①たらこは包丁で開いて中身だけを出してしまう。
- ②日本酒で①のをばす。
- ③たらこことバターを合わせる。
- ④茹であがった麺を③の中に入れ、塩、こしょうで味付をして、まぜ合わせる。
- ⑤器に盛り、きざみ海苔をかけて、でき上り。

東京・渋谷

スパゲティ専門店

Spaghetti



壁の穴

<三宮店>

中央区三宮町1-5サンロイヤル神戸10F(さんプラザ)

TEL 078-332-4551

営業時間11AM~9PM 第1・3月曜休